

あなたも
わたしも
いごちのいい学校

日野小学校だより

令和6年度
須坂市立日野小学校
R6.9.24
No.7

授業参観・災害時引き渡し訓練ありがとうございました。

9月13日(金)の授業参観、災害時引渡訓練には大勢の皆様にご参加いただき大変ありがとうございました。大変な猛暑の中でしたが、ご協力いただき、日野小では初めての訓練でしたが、おおよその流れを保護者の皆様と確認することができました。今回の訓練をふり返ってみたいと思います。

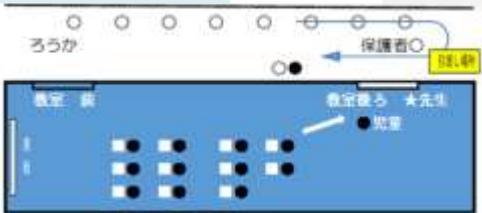
日程

- ・引き渡し訓練に関する説明
14:55~15:10
- ・引き渡し訓練開始【オクレンジャー受信】
15:15【訓練開始】
- ・引き渡しのための移動開始
15:20~16:30



まず、校長先生から訓練の目的や実際に他校で児童を引き渡しを行った際の教訓についてお話をいただきました。日野小では初めての試みなので、実際に行ってみて、ご意見をいただきましたというお話がありました。

引き渡しの手順



- ・引き渡しの手順(例)
- ①保護者：「〇〇(児童名)の母親(納明)の◆◆(お名前)です。」
- ②職員：〇〇を呼んで「緊急時児童引き渡しカード」を確認する。本人(児童)にも確認をする。「こちらはどなたですか?」
- ③児童：「ぼくの母です。」
- ④職員：「名簿(別紙列の通り)に迎えに来た人と時刻を記入」
- ⑤職員：「〇〇さんを引き渡しました。気をつけてお帰りください。」

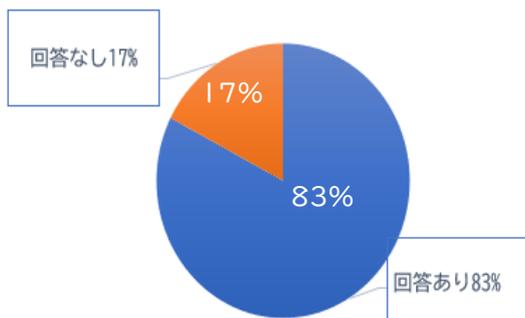
皆様にご協力いただき、早い時間帯に引き渡しが完了しました。ありがとうございました。

次に、オクレンジャーの受信を受け、訓練が開始されました。実際に職場等から学校に到着する時間を想定して時間差をつけて各教室へ移動しました。左の手順のように保護者と児童を確認しながら引き渡しが行われました。少し恥ずかしそうでしたが「母です」「お母さんです」と、確認ができました。



保護者と児童を確認しながら引き渡しをしている場面

帰宅完了報告の結果



左のグラフは、事前をお願いをしてあった「帰宅完了報告の結果」です。

全校で83%の方が帰宅完了報告をしてくださりました。「帰宅困難な状態」ですという回答はありませんでした。

今回、全てのご家庭でオクレンジャーを受信できたことはよかったです。帰宅後の安否確認については、今後の課題として確実に連絡が取れるように改善をしていきたいと思っています。

※裏面に皆様からいただいた訓練のふり返りの一部を掲載していますのでご覧ください。

◎今回の引き渡し訓練や緊急時の対応についてご家族で話し合われたこと、改めて約束したことなど◎

- ・実際はもっと緊迫した状況だと思うので、本当に起こった時に慌てずに、でもキビキビと行動することを話しました。
 - ・もし平日の夕方などの両親不在時には、おばあちゃんの家へ避難することにしました。
 - ・校長先生の話、訓練と実際は違うということがよくわかりました。
 - ・災害時には慌てないで先生の言う事を良く聞いて迎えを待とうと話しました。
 - ・慌てず落ち着いて行動しようね。と話しました。
 - ・通学路は危険箇所を確認していたけれど、家の周りに深い川があるので、意外と盲点だったこと。
 - ・数年前の大雨の際には通学路の道も低くなっている場所は車でも通れないほどの水が溜まっていたので、ルートを変えて帰る可能性もあること。
 - ・「僕のお母さんです」の言葉が恥ずかしくて、関係ない言葉を投げ掛けて来たので、ちがう言葉を言わず言われた通りの最短の言葉で伝えないと皆が遅くなってしまうからきちんと言うことが大切だと話をしました。
 - ・子供たちに、緊急時に家族の誰が学校へお迎えに行くのかを伝える良い機会になりました。また、家族みんなそれぞれ外出している時に災害が起きた時の待ち合わせ場所を決めました。
 - ・子供が入学して初めての引き渡し訓練でしたが、突然何かあった時に日頃の訓練が必ず役に立つと思います。
 - ・小学生になって初めての引き渡し訓練だったので、本人は帰ってからでも台風や災害にあったらどうするか等の話をしていました。親子で訓練する機会は少ないので貴重な体験が出来ました。
 - ・実際に、起こり得ることだということ話し、手順など忘れないようにと話をしました。
 - ・実際には0歳児がいたり、復職したら職場から1時間以上かかる可能性があるため、本番もよく学校の指示に従うように話しました。
 - ・災害時は、落ち着いて行動する事が大事だと話し合いました。
 - ・学校以外の場所において、災害があったときは、決めた場所に集合。
 - ・必ず迎えに行くから不安に思わず待っていて欲しいと、改めて伝えることができました。
 - ・今回の訓練中、昇降口で上履きを片づけている間に、子どもが先に外へ出て行ってしまった状況があったので、大人と合流したら、勝手に離れずまとまって行動しようと話しました。
 - ・避難場所の確認をしました。
 - ・家族が安否確認できる状態でいられるよう、行動や居場所を確認しました。
 - ・迎え後は家に着くまで一人で行動せず、状況によっては手を繋いで一緒に歩く。
 - ・子供たちに、緊急時に家族の誰が学校へお迎えに行くのかを伝える良い機会になりました。また、家族みんなそれぞれ外出している時に災害が起きた時の待ち合わせ場所を決めました。
 - ・災害時危ない箇所を改めて確認しながら帰宅しました。
 - ・名前、電話番号を書いたメモを持っておくなどの対応をする。
 - ・子供には、駐車場でも一人で先に走って行かず、姉弟・保護者と一緒に移動することを約束しました。
- 学校へ迎えに行くまで時間がかかるかもしれないが、慌てず先生のお話をよく聞いて待つという約束を改めて致しました。
- ・焦らず、静かに先生の指示を聞く。
 - ・帰り道に実家の会社があるので家まで帰るのが困難な場合そこに行けば祖父母や父がいるのでそこに帰宅しても良い。
 - ・一人一人が少しでも落ち着いて行動すれば、車や人の混雑の仕方も変わるのかもしれないと思った。

◎このほかにも改善した方がよいご意見やアイデアを多数いただきました。全職員で共有させていただき今後活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。